

1. 海上保安大学校、海上保安学校で入学式



海上保安大学校入学生代表による宣誓



海上保安学校入学生代表による宣誓



海上保安学校学生隊による分列行進

4月11日、海上保安大学校（広島県呉市）において、翌12日には海上保安学校（京都府舞鶴市）において入学式が執り行われました。

それぞれの式では来賓や家族が集まる中、入学生代表が海上保安官としての知識と技能の習得に励むことを力強く宣誓しました。

2. 波の花に埋もれての訓練

訓練中の機動救難士



訓練当日の玉結漁港

4月8日、美保航空基地所属の機動救難士7名は、島根県松江市美保関町にある玉結(たまゆい)漁港において、洋上からの吊り上げ救助を想定した訓練を実施しました。

当日は、荒波によって発生した大量の「波の花」の中に埋もれ、視界や資機材の確認が困難な状況にも遭遇するなど、奇しくも実際の荒天時における吊り上げ救助を想定した訓練となりました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361(代表)

(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用

1



必ずしも大丈夫(防水パックの使用)
携帯電話の携行

2



海のもしものは……
118番の活用

3



3. 隠岐島西郷沖火災船に対する迅速な消火活動

巡視船さんべとの連携消火活動



消火活動中の巡視船だいせん



4月2日午後3時頃、海上パトロール中の巡視船「だいせん」は、第八管区海上保安本部から島根県隠岐島西郷沖約6kmの海上で、火災船がいるとの情報を入手すると、直ちに現場に急行し、巡視船「さんべ」と連携して、約4時間にも及ぶ消火活動を実施しました。

4. 浸水の外洋ヨットを遠距離曳航救助

荒天の中、ヨットを曳航する巡視船くにながみ



曳航準備作業

4月13日午前10時頃、沖縄本島の南東約630kmの海上で日本船籍ヨット「ONE PIECE」(5トン未満、日本人1名乗船)が船底から浸水し、第十一管区海上保安本部に救助要請があり、巡視船「くにながみ」が現場に急行しました。

「くにながみ」は自力で航海できなくなったヨットを曳航し、途中荒天の中、那覇港までの約400km、およそ45時間にも及ぶ遠距離の曳航救助を完了しました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361(代表)

(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

